

Tuuli

トゥーリ

2017年12月15日発行



今年も年の瀬を迎え、一年を振り返る時となりました。今年はアウリンコの開設、至誠特養大規模改修工事と至誠ホームも大きな変化となる年となりました。いろいろ状況が変わる中、ボランティアの皆様にはご理解とご協力を頂き、至誠ホームを支えて頂き感謝致します。来年度も皆様にとって良き一年になることを祈っております。そしてどうぞ健康にご留意なさり、新たな年をお迎えください。

第66回東京都社会福祉大会

東京都社会福祉協議会会長表彰状受賞のお知らせ



12月15日に東京都社会福祉大会が東京都庁で行われます。「多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し、感謝の意を表する。またすぐれた活動内容を紹介し、福祉活動の普及・推進を行い、だれもが安心して暮らせる社会の実現を図る」という趣旨で、ボランティアさんや社会福祉施設職員、社会福祉の貢献者に表彰が行われます。

今年は今井幸子さんが表彰を受けられます。

今井さんは、専門の洋裁の腕を活かし、入居されている方々の衣類のボタンつけやほつれを直したり、又入居者の方からの要望をうけてその方が着れなくなったお洋服の直しをして洋服をよみがえらせたりと、本当に丁寧なお仕事を心を込めてして下さいます。他にも衣類整理、外出活動の援助など30年近く、多岐にわたる活動でお年寄りの生活を支えて下さっています。

今井さんにこれまでのボランティア活動を振り返り先日お話を伺いました。

ボランティア活動をはじめきっかけとなったのは、ご夫婦で日野市で開催された「80年代をいかに生きるか」という講座に参加され、その中でボランティア活動に関するお話があり、至誠ホームへの見学もあったそうです。その講座で至誠ホームに足を運んだことがきっかけで、シーツ交換のボランティアからスタートし、その後専門の洋裁の腕を活かし、縫い物の活動等幅広く現在まで活動して下さいます。今井さんに苦労したことなどなかったですか、とお聞きしたら「一切そんな風に思ったことはなかったです。この至誠ホームでボランティアをさせて頂いて、本当に活動がしやすく、ここに来なかったら何もしていない生活を送っていたかと思うので、ここで活動をさせて頂いていることに感謝しています。」とのお言葉を頂きました。

長きに渡ってこのような活動をして下さっていることに対し、東京都から感謝状が贈られます。おめでとうございます！

そしてこれからもどうぞよろしくお願いたします。



もちつき大会のご報告

12月8日（金）至誠特養でもちつきが行われました。寒空の中でしたが、よいしょ！よいしょ！という掛け声のもと餅がつかれ、温かいお汁粉とともにあんこ・きなこ・大根おろしとつきたてのお餅を本当に皆様美味しく召し上がっておられ、心も身体も温まる1日となりました。ボランティアの皆様にもお手伝い頂き本当にありがとうございました！



タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel: 042-527-0035 Fax: 042-527-2646
E-mail: shisei-volunteer@shisei.or.jp HP: <http://www.shisei.or.jp>



至誠ホームでは、栄養のバランスの取れたお弁当を、買い物や食事の支度が困難な地域の高齢者の方へお届けするサービス「ふれあい夕ごはん」を行っております。お蔭様をもちまして「ふれあい夕ごはん」が来年20周年を迎えます。この20年の感謝をこめて、配食を担当して下さっているボランティアの皆様と担当職員が共に集うお食事を企画いたしました。美味しいお食事を囲みながら皆様と一緒に楽しいひと時にしたいと思います。また、日頃の活動の中で感じておられることなどのご意見もお聞かせください。皆様のご参加をお待ちいたしております！

日にち : 2018年2月1日(木)

時間 : 11:30~13:30

場所 : 懐石料理 無門庵

参加費 : 1,000円

申込締切 : 2018年1月24日(水)

お申込み : ボランティアコーナー 和田・駒場・金綱まで

☆至誠ホームから送迎車あり。(11時までに至誠ホーム正面玄関までお越しください。)



車椅子清掃ボランティアさんのご紹介！



至誠ホームでは、多くのボランティアさんのお力により、至誠ホームを支えて頂いております。今回はその中で毎週月曜日に車椅子清掃を下さっている平澤さんの活動のご紹介をさせていただきます。平澤さんは、今年4月から至誠特養・アウリンコ特養にお住まいの方々の車椅子の清掃を下さっています。車椅子は毎日利用者の方々が使うものなので、こびりついた汚れはなかなかとれないものですが、細かいところまで水で流したり、ブラシで擦るなど丁寧な作業でピカピカに下さっています。以下に平澤さんのお言葉をご紹介します。

私は、富士見町に住む平澤と申します。本年4月より至誠ホームで、週1階の車椅子清掃をしております。きっかけは、4月のアウリンコオープン行事に参加したことです。私達は、夫婦ともに所謂、後期高齢者となり、老人介護施設に対し、切実な興味を持っていたからです。しかし、現在はそれなりに健康であり、かつ数年前に陶芸作業のお手伝いのボランティアを申込みましたが、タイミングが合わないために作業に参加できませんでした。その負い目もあり、今回は実行できそうな内容を選択しました。しかも聞くところによれば、その時点で申込者がいないそうなので、この作業をすれば完成度を問わず何かお役に立てそうだと思ったからです。

さて、私は98歳で亡くなった母がおりましたので、車椅子は身近な存在でした。更に食事の際、利き腕で箸やスプーンを持つとこぼれてしまうことを見ているので、車椅子は主に食べ物がこぼれて汚れることを理解しております。

次に実際の作業ですが、軽度の汚れは濡れ雑巾で清掃可能です。ただ、乾燥してしまった汚れは、水をかけ、十分柔らかくしてからブラシまたはへらで汚れを落とします。尚、髪の毛は難度の高い汚れです。これがタイヤに巻きつくと手作業で車を回しながら、手で取り除く作業をするので手間がかかります。また、当日の昼食に間に合うようにという要望にお応えし、この場合は日干しの乾燥の時間がとれないため、座席とその近辺の上側の汚れをブラシで落とし、後は濡れ雑巾だけの清掃で済ませざる終えません。しかし、汚れ次第では水かけをしても多々あり、乾ききらない状態を使うことになるので利用者の方々にはご迷惑をおかけします。毎回、約2時間くらいの活動ですが、私の熟練度では最大3台の清掃が限界です。この活動への感想ですが、私の個人的な嗜好に合うことが多く、苦痛はなく、むしろ気軽に作業しております。

平澤さんが毎回車椅子の状態をみながらいろいろと工夫をして作業下さっていることに感謝致します。ピカピカになった車椅子を見ると、職員のみならず心洗われたように利用者の方々、職員からも毎回感謝のお言葉を頂いております。



ボランティアコーナー受付に置いてある素敵な植物や風景の写真は平澤さんがお撮りになったものです。季節を感じる写真にいつも癒されます。